

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	あきる野市高齢者在宅サービスセンター 開戸センター
	所在地	あきる野市湊上 322 番地 1
	所管課	健康福祉部高齢者支援課高齢者支援係（内線） 2 6 3 2
指定管理者	名 称	医療法人財団 暁
	所在地	あきる野市秋川 6-5-1
	業務内容	1 管理運営に関する業務 (1) 高齢者生きがい活動支援通所事業 (2) 地域における高齢者福祉の拠点としての活動事業 (3) その他市長が特に認めた事業 2 施設、設備等の維持管理及び修繕に関する業務 (1) 屋内・屋外（植木等のせん定を含む。）、付帯設備及び物品の保守、維持管理及び修繕に関すること。 (2) その他の施設等の管理に関すること
ホームページ URL		http://www.akirudai-hp.or.jp/houzin/center.html
指 定 期 間		平成 2 5 年 4 月 1 日～平成 3 0 年 3 月 3 1 日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成 2 5 年度	平成 2 6 年度	平成 2 7 年度	平成 2 8 年度	平成 2 9 年度
開館等日数（日）	244	247	264	265	267
延べ利用者数 通所（人）	3,332	2,962	3,119	3,118	3,020
前年度比（人）		△370	157	△1	△98
前年度比（%）		88.9	105.3	100.0	96.9
延べ利用者数 自主事業（人）	431	1,052	2,125	2,708	3,101
前年度比（人）		621	1,073	583	393
前年度比（%）		244.1	202.0	127.4	114.5
利用料金 通所（千円）	3,083	2,518	2,719	2,726	2,622
前年度比（千円）		△565	201	7	△104
前年度比（%）		81.7	108.0	100.3	96.2
利用料金 合計自 主事業（千円）	328	661	1,250	1,597	1,781
前年度比（千円）		333	589	347	184
前年度比（%）		201.5	189.1	127.8	111.5

3 施設の収支状況について

(単位：千円)

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
収 入	指定管理料	13,606	13,160	13,160	13,307	13,397
	利用料金収入	3,083	2,518	2,719	2,726	2,622
	自主事業収入	328	661	1,250	1,597	1,781
	収入計	17,017	16,339	17,129	17,629	17,800
支 出	人件費	10,537	10,378	11,688	10,823	10,692
	維持管理経費	4,406	4,181	4,236	4,457	4,609
	自主事業関係経費	4,284	1,714	1,149	1,062	1,336
	その他の支出	0	0	0	0	0
	支出計	19,226	16,273	17,073	16,342	16,636
収支(収入－支出)	△2,209	66	56	1,288	1,164	

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート(実施時期や具体的な方法など)
通所事業では、サービスの向上の為に利用者ひとりひとりへの心配りを大切にし、定期的に面談を行い意見を取り入れています。また、自立支援のための手助けや要望等もコミュニケーションを取りながら行いました。自主事業では講座終了後にアンケートを実施したり、「意見箱」の設置により利用者の声を反映しています。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
通所事業では、センターの利用時間を自由にして欲しいという声が多数あり、利用者の要望を取り入れられるよう検討しています。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など(取組の内容、効果など)
通所事業では、自立支援に力を入れながら活気あふれる活動内容になる工夫をし、生きがいになる課外活動も取り入れプログラムを作成しました。 自主事業では、講座修了後に参加利用者の方が会話を楽しまれるお茶と場所の提供も行っています。今後も地域の交流の場になりたいと思います。

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
職員全員で小さなことから取組んでいます。節電、節水、残業を軽減する業務の工夫も行いました。また、通所事業での活動費の削減や不用品のリサイクル等も行いました。在庫管理の見直しも行い、在庫を持たない努力もしました。3センターで声を掛けながら行っています。

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
通所事業は自立した元気な利用者が多く、活動も含め活気にあふれています。今後も周知活動に力を入れ多くの市民の皆様に利用して欲しいと思います。 自主事業は、これからも市民の皆様の声や、意見を取り入れ今年度以上に喜ばれる講座の開設を目指していきたいと思います。また、地域交流や異世代交流の場としても今後さらなる事業の展開をしていきます。

7 所管課による総合評価（太枠にS～Bの3段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
通所事業については、利用者への心配りや面談による利用者の意見を取り入れ、利用者側の視点に立った活動ができており評価できます。引き続き、利用者の自立支援の手助けやコミュニケーションを取りながら事業を実施してください。自主事業については、利用者の声を反映し、常に利用者の方が楽しめるように心がけており、評価できます。今後も利用者のニーズ把握に努め、事業を実施してください。	
経費削減の取組	
職員一体となった節電やリサイクル品の活用など経費削減の取組を行っており評価します。今後も職員が一体となって、節電やリサイクル品の活用など小さなことから取り組んでください。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
通所事業については、自立支援に力を入れながら活気あふれる活動が実施されており評価します。今後も利用者のニーズを把握し、事業の展開を行ってください。自主事業についても、ニーズに基づく事業展開や地域の交流の場として利用するなど創意工夫を凝らした活動を行っており評価します。今後も事業内容等について、創意工夫に心がけるとともに、啓発・広報活動を継続してください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。